

羽根井小学校のESD活動

<活動の概要>

- ・「羽根井再発見ー地域を愛し、ともに生きる羽根井っ子の育成ー」を活動テーマとし、地域に密着した学習を系統的に行うことを柱とし、ESDの実践を通して「人間性豊かな羽根井っ子」の育成を目標とした。
- ・①地域のことから学ぶ活動、②地域の人から学ぶ活動を行った。

・活動の実際

① 地域のことから学ぶ活動

4年生は、「持続可能な未来を
目指して、レッツ！アクション！
」をテーマに、校区にある柳
生川に出かけていき、川の様子を
観察した。そして、観察を通し
て、気になったことを個々の課題
として調べ活動を進めた。



討論会をする4年生

調べて獲得した知識をもとに環
境問題についての学年討論会を行い、再生可能エネルギーのこと
や、自分たちの将来のために個々にできることはどんなことか、
たくさんの意見が交わされた。

地域の柳生川をきっかけにして、視点を世界に広げ、幅広く環
境問題について考えを深めることができた。

6年生は、「のんほいパークから学ぶ命の危機」をテーマに、
のんほいパークの職員の方から、絶滅危惧種が記載されたレッド
リストを紹介していただき、そこから絶滅間近に至った原因や、
現在行われている保護活動につ
いて調べを進めた。そして、学
んだことを世界中の人に見ても
らいたいという思いから、英語
でまとめを作成した。まとめた
ものは、のんほいパークに展示
され、多くの人に見てもらふ機
会を作った。



6年生がまとめた英語のまとめ

② 地域の人から学ぶ活動

1年生は花ヶ崎保育園児をおもちゃまつりに招待して交流し
た。グループごとに遊びを考え、必要なものを作り、実際に遊
んで、園児が楽しめるように改良や遊び方の工夫を重ねた。交
流では、会を仕切るだけでなく、園児が安心して楽しめるよう
に、相手を思いやる言動が随所に見られた。

2年生は明陽苑利用者との交流を行った。感染症リスクへの
配慮から、今年度も手紙での交流となった。季節の変わり目や
年中行事ごとに送った手紙は利用者の方に大変喜ばれた。対面
での交流は難しくても、見えない相手を思いやる気持ちを育む
ことができた。

3年生は「知りたいな 世界のこと」をテーマに、外国語活
動の学習から広がって、外国の文化をはじめ、いろいろなこと
を学んだ。市役所多文化共生・国際課の国際交流員と交流する
機会を設け、インターネットを使って調べ学習を行った。興味
をもったことを追究し、疑問が生じれば仲間と一緒に解決する
ことを通して、日本以外の国について、興味を深めることがで
きた。

5年生は「ともに生きる」をテ
ーマに、老若男女、障害の有無に関わ
らず、さまざまな立場の人が幸せに
暮らすために大切なことについて考
えた。車いす体験を通して、体に障
害がある方が過ごしやすい社会にな
るには、どうしたらよいのか考えを深めることができた。



5年生の車いす体験